

令和7年10月31日

報道機関 各位

田辺市秘書課長 大久保 将之

『合気道開祖植芝盛平翁を縁とする相互交流等に関する覚書』調印式について

報道機関の皆様におかれましては、平素より田辺市政等の取材及び情報発信にご協力をいただいておりますことに心より御礼申し上げます。

さて、この度、合気道の開祖「植芝盛平翁」のご縁から、植芝守央合気道道主を立会人として、田辺市・北海道遠軽町・茨城県笠間市・東京都新宿区・京都府綾部市によります『合気道開祖植芝盛平翁を縁とする相互交流等に関する覚書』の調印式を執り行う運びとなりました。

つきましては、下記及び別添資料のとおり情報提供いたしますので、取材及び報道方よろしくお願いいたします。

記

●これまでの経緯

- ・田辺市出身の合気道の開祖「植芝盛平翁」は幼いころから武道に励み、北海道白滝村（現在の遠軽町）や京都府綾部町（現在の綾部市）などでの苦難の修行を経た後、茨城県岩間町（現在の笠間市）において独自の武道である「合気道」を完成させました。
- ・このご縁から、平成13年5月10日に植芝盛平翁ゆかりの地として旧白滝村、旧岩間町、旧田辺市の間で、続く平成20年2月23日には、新たに綾部市を加えた4市町の間で『友好都市提携』が結ばれ、以後、様々な交流を重ねてきております。
- ・こうした中、（東日本大震災の発災を契機として）田辺市・遠軽町・笠間市・綾部市は、相互に離れた距離に位置していることから、万が一の大規模災害発生時には相互協力に尽力し、被災した住民を支援することを目的とする『合気道創設者ゆかりの友好都市間における災害時相互応援に関する協定』を平成24年2月15日に新たに締結しました。
- ・さらに近年は「合気道創設者ゆかりの田辺市・遠軽町・笠間市・綾部市」及び公益財団法人「合気会」に加えて、公益財団法人「合気会」の本部道場が所在する新宿区との交流も深まりつつあり、今回、植芝守央合気道道主を立会人として、田辺市・遠軽町・笠間市・新宿区・綾部市による『合気道開祖植芝盛平翁を縁とする相互交流等に関する覚書』を調印する運びとなりました。

●調印日程 令和7年11月8日（土）16:00～16:30

●場 所 新宿区立若松地域センター 新宿区若松町12-6（TEL03-3209-6030）

●出席者

合気会	植芝 守央	合気道道主（公益財団法人「合気会」理事長）
	植芝 充央	合気道本部道場長（公益財団法人「合気会」専務理事）
新宿区	吉住 健一	区長
遠軽町	佐々木 修一	町長
笠間市	近藤 慶一	副市長
綾部市	山崎 善也	市長
田辺市	真砂 充敏	市長

●その他

- ・新宿区立若松地域センターでの調印の様子（写真）は、事後、田辺市秘書課より提供することが可能です。
- ・調印式で署名する「台紙（案）」につきましては、別添のとおりです。

■連絡先	秘書課
担当氏名	大久保
内線番号	2051
電話番号	0739-26-9910

合気道開祖植芝盛平翁を縁とする 相互交流等に関する覚書

北海道遠軽町、東京都新宿区、茨城県笠間市、京都府綾部市、和歌山県田辺市は、共に合気道の開祖である植芝盛平翁ゆかりの地として、共通の誇りを礎とし、合気道を通じて親密なる交流を図ることにより、相互の理解と友好親善を深めるとともに、災害時には相互応援を図ることを目的として、ここに相互交流等に関する覚書を締結する。

令和7年11月8日



北海道紋別郡遠軽町

遠軽町長

東京都新宿区

新宿区長

茨城県笠間市

笠間市長

京都府綾部市

綾部市長

和歌山県田辺市

田辺市長

立会人

公益財団法人合気会理事長

合気道道主